時事新報

憲法の發布

數へて本日に至りて彌々我が帝國憲法を發布せらるゝの當日となれり紀元節の嘉辰に當りて更に我國第二の紀元とも申すべき立憲政治の基礎を定めらるゝとなれば我輩は世人と共に大に慶賀の意を表し未來永久國運の繁榮を祈りて已まざるものなり扨其明文は午前十一時以後に非ざれば未だ拝讀に由なしと雖も竊に案するに日本の政體たる古來純粹無雜の專制政治にして人民が政治に參與する抔とは二十年前曾て夢想せしとも奉く上流は淡如たり下流は蠢爾たるの有樣なりしに一朝端なく文明の風に誘はれて國會開設の事を約し爾後在朝の當局者が憲法取調の爲め歐洲諸國を巡歷するなど匆々の準備にして今日發布の盛式に逢ひ顧みて二十年の前後を見れば至靜至動の激變、世界古今に比類なき所のものゝみして啻に外國人の耳目を驚かすのみならず兼て國會を待設けたる吾々日本國民の身に於てもわしびきの長〳〵しと恩ひし其日月を今より顧みれば却て速なりしに驚かずんばあらず唯ろの速なるのみならず西洋諸國の例を見れば憲法發布、國會開設等の事は中々容易ならずして治者被治者の間に種々の紛紜を釀し積り〳〵て遂に反動の爭を起すの常なれば騷動の緩急長短みな相異なれども其騷動は免る可らず所謂雨降りて地固まるものゝみして騷動を起すに非ざれば憲法、國會を買ふに由なきもの〵如くなりしに獨り日本は其種子を西洋に求めたるにも拘はらず先例の惡きものは之に倣はずして唯ろの利益のみを取り未だ雨降らずして大地先づ固まり政府が主と爲りて議會を開かんとすれば人民は客と爲りて之に滿足し主客互に欲迎して四海波靜に芽出度憲法の發布を見るを得んとは抑も世界の歷史上に一種の異例を添へたるものにして日本人民が自から其政治上の美德を誇るも之を爭ふ者あかる可し扨いよ〳〵憲法發布の盛式を擧行して茲に一段落を畢り明二十三年に至りて此憲法より產出す可き國會の實際は如何なるべきや俄に安心す可らざるに似たりと雖も我輩は以て見れば是亦大に望を屬するに足るものあり其次第は數日前より社告したる如く日本國會緣起の一編を明十二日より續々數日間の社說に掲載すべければ諸者と共に之に就て國會の前途を卜せんと欲するものなり

電報

○奉告勅使　青森二月十日午後特發

本日松澤書記官は知事代理として警部五名を隨へ岩木山國幣社へ憲法發布、帝室典範御治定奉告の爲め參向せり

○憲法發布　秋田二月十日午後特發

明日は官民打混じて大宴會を開く筈なるが當地の人氣は爲めに浮立ちて停まる處を知らざる有樣なり

○神戸の十日　神戸二月十日午後特發

明日當地の有志者は午前九時を期し一同商法會議所に參集し夫より補神社に赴きて天皇陛下の御眞影を拜し奉りて商法會議所に引返し此處にて盛なる宴會を開き夜に入ては湊河原に絲を燒き又鏡を抜きたる酒樽を並べて人をして隨意に飲ましむる工風をなし居れり神戸又新日報社にては當日憲法を印刷せる號外を右の宴席に配布し又補神社内へ憲法の正文を書きたる大行燈を掲ぐる筈なり

○静岡の十日　静岡二月十日午後特發

當市中は格段に平常と變りし事なきも東京の景況を見物せんとて出立するもの多し

○浦和の十日　浦和二月十日午後特發

當浦和にては明日官民の有志者停車場側の師範學校兵式體操場に集會し祝賀の式を擧げん迎既に夫々順序を定めたるが餘興には奏樂唱歌の催しある筈なり

○京都の十日　京都二月十日午前特發（編輯延着）

明十一日當地にて官吏紳商は共同して官民奉祝會を又大同團結派の人々は官民懇親會を、又公民會は發會を兼ね祝賀會を、裁判官は祝宴を、學察官は射的會を何れも催す筈又諸學校其他祝宴を張るもの多く壯士連も運動會を催ほすよしなり

○大坂の十日　大坂二月十日午後特發

明日當地の諸官衙にては午前に遙拜式を行ひ午後より祝宴を開く筈なるが各學校諸會社其他市中の町々迄夫々祝賀の準備をなし青年會員は櫻の宮に於て、各學校生徒は練兵場に於て何れも運動會を催し北演西南の三倶樂部及び諸會の各會員は協同して盛なる祝宴を開き樂隊をも聘し興を添へる筈にして此外株式取引所、堂嶋米商會所、各會社共各々祝宴を開き又各遊廓にても祝賀として煙火を打揚げん抔とて市中大に騷雀し居れり

○名古屋の十日　名古屋二月十日午後特發

當地の官民共明日の準備に奔走して人氣大に浮立ち市中到る處に憲法上の話なきはなく各新聞社は號外を發し各町共山車を牽出す筈なるが本日の天氣は曇りて雨空となりしかば人々何れも心配し居れり

○札幌祝賀の準備　札幌二月十日午後特發

北海道札幌にては明日の憲法發布を祝賀する爲め官民一千餘名は大宴會を開きて餘興に烟花を打揚くるの支度あり

○祝賀の準備　福井二月十八日午前特發

當地の有志は明日の大典を祝するの準備に忙はしくして恰んと他事なきもの〵如し

○函館の準備　函館二月十日午後特發

當地の官民十有餘名は明十一日町内の倶樂部に參集して憲法發布の盛典を祝し畢て大宴會を開きて烟花數百本を打揚くるに決し目下準備の最中なり

○祝賀の準備　長野二月十日午後特發

當地は目下明日の憲法發布式を祝する爲め準備最中なり

○丸龜の祝賀　丸龜二月十日午前特發

明日の大典を祝する爲め當地の官民一同は練兵場に會合して一大宴會を開く筈

○松山の祝賀會　松山二月十日午前特發

本日臺天明日は當地各所に於て憲法發布の大典を祝する爲め宴會を開く筈なり

○憲法の祝賀　新潟二月十日午後特發

當地の有志は昨日憲法發布を祝する爲め神宮へ祝賀式を執行す又警察署及び師範學校生徒は常盤ヶ岡に於て大運動會を催ほすの計畫あり

○川田氏の一行　名古屋二月十日午後特發

川田剛氏の一行は昨夜當地に着し明日は歸京の途に上る筈なり

○青森の十日　青森二月十日午後發

明十一日當地の諸官吏は中學校にて民間有志者等は料理屋、寺院等にて何れも祝賀の盛宴を催ほす筈にて市中の商家は今十日より既に休業して其賑やかなること祭禮の如し

○盛典の祝賀　青森二月十日午後特發　明日當地の豪商は祝意を表する爲め米、味噌等を貧民に救與する計畫にて又青森日報は號外を發行する筈なり

○集會、祝賀の準備　佐賀二月十日午後特發　當地は改進主義のドウセイ會を開きたる後特發　當地の國幣社へは其地の郡長參向の筈、當停車場は頗る繁忙を極め居れり

○憲法の祝賀　濱田二月十日午後特發　明日の盛典を祝する爲め當地は勿論郡村に至る迄官民共に祝宴を開くの樣子あり

○雨降る　静岡二月十日午後特發　唯今（九時）雨降り始む

○祝賀の準備　德嶋二月十日午後特發（編輯延着）

當城内に於て明日祝賀の爲め大宴會を開く筈に付目下準備最中なり、擬發にても同斷なり

○祝宴　和歌山二月十日午後特發

當地有志者は明日岡東館に於て祝宴を開くに付其用意最中なり

○汽車の客留、遙拜式　足利二月十日午後特發

當地方より上京する者非常に多く汽車に乘切れずして乘客を斷りたる程なり、足利桐田兩郡官民の有志者は明日バンナン寺に相會し、遙拜式を行ひ終りて祝宴を開く筈なり

○憲法の祝ひ　廣嶋二月十日午後特發

明日憲法發布の祝典を擧行するに付當地にては其會場の點に於て神道分局と縣會議事堂との二派に分れ何れも多人數を集めんとて盛に競爭し居れり

○祝儀の用意　金澤二月十日午後特發

明日は市中に提灯を掛けつらねる市民相集りて祝意を表する筈にて用意最中

○用意整ふたり　熊本二月十日午後特發

區民祝賀の用意整ひ人氣も頗る引立てり

祝賀

○御召馬車の馬匹　本日憲法發布式の終りし後親兵式場へ行幸啓の節召させ給ふ兩陛下御料馬車の馬匹は何れも駿足の名馬にして六頭共鹿毛色の揃ひなるよし其馬名は鹿尾山、老樂、駒ヶ嶽、高嶋、沙留太、百瀬と名けたる何れも北海道新冠の產なりと

○式場の疊數　本日宮中にて憲法發布式を擧行せらるゝ正殿は百六十疊敷にして同夜御宴會を催せらるゝ豐明殿は二百七十二疊敷なるよし

○總理大臣の繁忙　本日憲法發布式に付き黑田總理大臣は右に關するの公務多端なるを以て內閣退出は此程より大概夜に至り殊に一昨日の如きは午後十一時過まで又昨日は日曜休暇なるも永田町の官邸へ秘書官書記官屬官等を特に招集し右發布に付ての手續等種々配慮せし趣きなり

○休暇見合せ　宮內省各局課并內閣書記官局は本日憲法發布式に付事務頗る繁忙なりしより昨日の日曜休暇を見合せ一同早朝より出頭し夫々右に關する事務を扱ひたりと

○觀兵式の餘聞　本日の式典は未曾有の大禮なりとて第一師團高崎、佐倉の兩營所よりは各々一聯隊宛全式に列し其他靑山練兵場に集合する軍隊は凡そ一軍團程にして外に海軍兵員千五百人も參場するよしなるが步兵のみにて廿大隊餘に及ぶべき人員なりと

○故西鄕隆盛氏の復位　本日憲法發布の盛典擧行に際し同日特赦を行ふ國事犯罪者の內故西鄕隆盛氏へは即日正三位に復する旨其筋より通達ある筈なりと尙其他にも曾て國家に功勞あり中途にして身を誤りたる人々にも特典の沙汰あるやと噂せり

○激昂と酩酊　西洋にて例へば過般の英皇五十年祭の如き國の大祭若くは示威表彰會の如き其日に際しては國民は挙て思ひ〳〵の裝束をなし活潑に勇壯に市街の各所に群集して大喝采を揚ぐるもあれば列伍を整へて市中を練り廻り行く〳〵唱歌して呼びつ應へつ絕叫する其趣は外國人の目には勇ましく見えて邊に國の大祭日なれと思はしむる程なれども其制合に警察の手を煩はするものは稀にして平日よりも却て少なく偶々みれば激昂の餘氣を法を犯すの類なりといふ我國にては之に反し古來祭日とあれば唯牛飯馬食して馬鹿囃しの踊盡に畢生の樂を演するのみ其他中等以上に至れば皆沈着を無取るにて事の輕重に本日の憲法發布の如きもの多くして若し或は從來の例に倣はんとせば本日の盛典を煩はす者少なきは固より激昂とは掛か赤面の恥かしき樂動を敢て招かざらんとの物語

○御巡幸の請願　御巡幸の請願書は兩氏より大典の日四區大通りを通行し夫より全都下に於て全部の樂を得せしめんとの書を差出し且諸府知事は特の外務大臣に具申傳へらるるよしと云ふ

○恩金國の長　恩金國の長より本社に付ては誠に小餅と百錢箱を配布すべき筈なる旨申傳へらるるよしと云ふ

○電話に由て　本社よりは此道の速かにして其方法に付き借りて熱海に新報は獨り地を除くの外待ちしに浴客を殺ぬ人を集めて周章に至るまで周章趣向を立つ午後二三時頃殺け居る有樣なり熱海に憲法筆記し或は又方にも千歲一日大坂、京都熱海と仕合をめる報道の

○慶應塾　慶應塾の生徒は本日の盛典を祝して體操教員の大人生同塾の大人生は歸校の上

○福嶋の祝賀　福嶋の祝賀會する者三